

鎌倉文学館改修計画及び解体予定の洋館（旧前田邸）見学説明会 結果報告

1 開催概要

令和7年（2025年）8月3日（日）及び9月30日（火）に「鎌倉文学館の改修計画に伴う解体予定の洋館（旧前田邸）見学説明会」を開催し、2日間で約570名の方にご参加いただきました。本報告書では、当日の概要や説明内容等について報告します。

（1）開催日時

令和7年（2025年）8月3日（日）①10時から12時 ②14時から16時

令和7年（2025年）9月30日（火）①10時から12時 ②14時から16時

※当初予定していた令和7年（2025年）7月30日（水）の説明会は、津波警報発令により中止となったため、9月30日（火）に代替開催を行いました。

（2）場所

鎌倉文学館庭園・敷地内洋館（旧前田邸）（鎌倉市長谷1-5-2）

（3）当日の実施内容

①職員による大規模改修計画についての説明・質疑応答

②解体予定の敷地内洋館（旧前田邸）の見学

③ご意見ボード「これ、いいね」の設置

④アンケートの実施

（4）主催

鎌倉市文化課

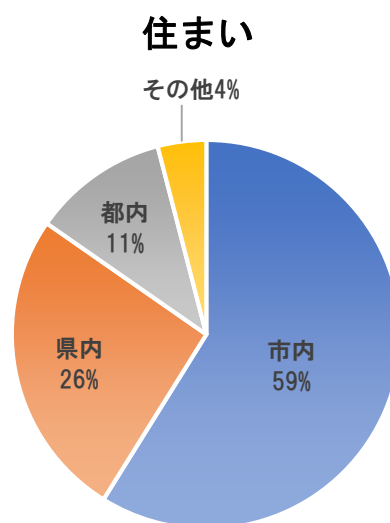
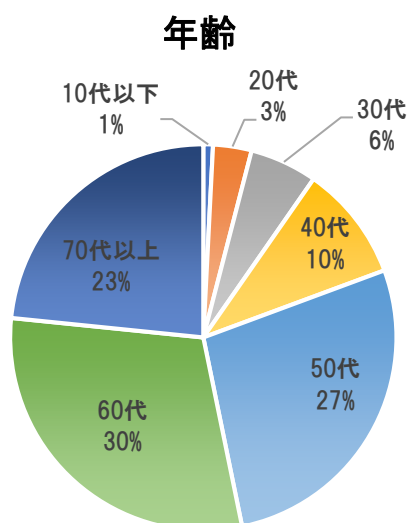
（5）目的

鎌倉文学館の改修計画についての理解促進及び意見聴取

（6）来場者数

約570名（8月3日（日）：約350名、9月30日（火）：約220名）

（7）来場者構成（アンケート結果から）



2 説明内容の概要

説明会では、鎌倉文学館の大規模改修及び敷地内洋館（旧前田邸）の解体に関する基本方針を説明しました。

（１）鎌倉文学館について

①歴史

- ・昭和 11 年（1936 年）、加賀百万石の前田利為侯爵の別邸として建築
- ・昭和 58 年（1983 年）に前田家から鎌倉市に寄贈され、昭和 60 年（1985 年）に文学館として開館

②建物の特徴

- ・鎌倉の別荘文化を今に伝える貴重な洋風建築として、旧華頂宮邸、古我邸と並ぶ鎌倉三大洋館の一つ
- ・鎌倉市景観重要建築物等、国登録有形文化財
- ・外観はハーフティンバーを基調としており、印象的な青いスパニッシュ瓦を用いた洋風部分と、切妻屋根及び深い軒の和風建築が混在している
- ・3階建てで、延べ床面積は 1,000 平米を超える神奈川県内で最も大規模な別荘建築物

③魅力

- ・川端康成、大佛次郎、与謝野晶子をはじめとする鎌倉ゆかりの文士に関する資料を 1 万 5,000 点以上所蔵
- ・季節に応じて文学館を彩るバラ園
- ・年間 10 万人以上が訪れる観光スポットとして、開館以来 40 年間、地域の方々をはじめ、多くの方々に親しまれる文化施設となっている

④課題

- ・老朽化（築 90 年を迎え、開館から約 40 年間、休館を伴う大規模修繕はなし）
- ・バリアフリーへの対応
- ・展示スペースの不足
- ・券売所が屋外に面していることによる来館者管理の難しさ

（２）大規模改修の概要

①文化財的価値の保存と活用

歴史的建造物としての価値を損なわないようできる限り保存しながら、文学館として活用するための老朽化対策

②バリアフリー対応

エレベーターを新設するほかトイレ等を整備

③安全対策

落石防護柵を新設し、レッドゾーンの指定を解除

④全体敷地から動線の見直し

券売所、ミュージアムショップ、喫茶機能を南側敷地に設置

⑤公開範囲の拡大

建築基準法第 3 条第 1 項第 3 号の適用除外の適用を受け、代替手段により安全性を確保した

上で、本館3階を一般公開

(3) 敷地内洋館（旧前田邸）について

①歴史及び建物の特徴

- ・昭和46年（1971年）に建てられた建築面積174㎡、延べ床面積264㎡の鉄筋コンクリート造の2階建て洋館
- ・平成22年（2010年）に建物と敷地を含め鎌倉市に寄付

②敷地内洋館（旧前田邸）の主な解体理由

- ・市街化調整区域内に建物があることから、住居以外の活用が困難であること
- ・レッドゾーンに建物の一部が立地しており、景観を損なわずに安全対策を行うことが困難であること
- ・構造上の制約から段差が多く、バリアフリー化が困難であること
- ・保存・活用には多額の改修費用と維持管理コストが発生すること

③敷地内洋館（旧前田邸）の一部保存について

- ・もともと文学館に設置されていたステンドグラスを敷地内洋館（旧前田邸）から文学館へ戻すことで、文学館の更なる魅力向上を図る
- ・使用可能な部材等の一部については再活用しながら趣を残す配慮をした管理棟を付近に新設する
- ・敷地内洋館（旧前田邸）があったという歴史について、鎌倉文学館の展示事業の中で伝えていくことで“記憶の継承”を行う

3 市民意見の整理

ご意見ボード「これ、いいね」では、敷地内洋館（旧前田邸）の解体に際して、「どこが好きか」「どの部分・要素を残してほしいと思うか」をテーマにお伺いしました。お寄せいただいたご意見については、資料4に掲載していますが、一人が複数の項目を挙げられる形式であったため、回答数と回答者数は一致しません。

最も多く寄せられたのは、玄関のステンドグラス、照明器具など、敷地内洋館（旧前田邸）の特徴的な造作や意匠を残してほしいという意見であり、参加者の多くが、建物の歴史的価値を「特定の部位」や「視覚的象徴」を通じて捉えており、建物に対する印象や記憶を具体的な造作を媒介として保持しようとする傾向が見受けられました。このことから、部分的な保存や部材の再利用が多くの市民にとって意義を持つものであることが伺うことができ、造作の保存は、単なる装飾の維持にとどまらず、市民の記憶との接点を保つ行為として位置づけられているものと考えられます。

次に、件数としては多くはないものの、「静けさ」「落ち着き」など、建物全体の雰囲気や感覚的価値を残してほしいという意見もいただきました。これらの意見は、建築の個別要素よりも空間体験そのものへの関心を示しており、歴史的建築の価値を「形」ではなく「空気感」や「環境的なまとまり」として受け止めている点に特徴があると考えられます。こうした意見からは、文学館という場所に求められているものが単なる視覚的保存ではなく、訪れた際に感じられる体験の一貫性であることが伺えます。

一方で、一部の付箋には、設問の主旨からはやや離れるものの「カフェを楽しみにしている」「展示を増やしてほしい」「バリアフリーにしてほしい」といった意見も寄せられました。これらの意見は、参加者が敷地全体を一体的な文化施設として捉えていることを示していると考えられ、来館者の意識は建物単体の保存にとどまらず、「文学館全体の体験価値」へと広がっており、利便性や快適性を含めた総合的な利用体験への関心が高まっていることが伺えます。

また、「全体を残してほしい」「景観や森を壊さないでほしい」といった、建物や敷地全体の保存・保全を求める意見も一定数見受けられました。これらの意見は、敷地内洋館（旧前田邸）を単なる建築物としてではなく、鎌倉の歴史的景観や文化的背景と結びついた存在として認識していることを示していると考えられ、市民が文学館を“地域の記憶を象徴する場”として捉えていることが伺えました。

こうした声は、今後の敷地内洋館（旧前田邸）の部材の保存や展示において参考とさせていただくとともに、敷地内洋館（旧前田邸）のイメージを承継しながら、空間の雰囲気大切にすることで、鎌倉の貴重な文化財である鎌倉文学館全体の価値向上を図り、後世に引き継いでいきます。

当日ご参加いただいた皆様におかれましては、貴重なご意見を誠にありがとうございました。

4 今後の情報共有について

鎌倉文学館の大規模改修については、計画内容や進捗状況をわかりやすくお伝えし、改修後の施設に関する情報を継続的に共有していくことが重要だと考えています。

今回の見学説明会及びアンケートを通じて寄せられたご意見やご感想を踏まえ、今後、市民の皆様が新たな文学館と歩みをともにできるよう、段階的に情報を発信してまいります。

5 資料

- (1) 説明会チラシ
- (2) 配布資料
- (3) 配布資料（9月30日開催時追加分）
- (4) 説明・展示パネル（抜粋）
- (5) ご意見ボード「これ、いいね」でのご意見
- (6) アンケート集計結果
- (7) 当日写真

2029年再開へ
準備中

鎌倉文学館と洋館（旧前田邸） 見学説明会

「見る・憩う・過ごす」場所へ

解体予定

7.30 水 and 8.3 日

①10時～12時
②14時～16時

鎌倉文学館は、昭和11年（1936年）、加賀百万石・前田家の別荘（旧前田侯爵家別邸）として建てられた洋館を活用し、昭和60年（1985年）に開館しました。鎌倉三大洋館のひとつとして、また国の登録有形文化財として広く親しまれ、令和7年（2025年）には開館40年を迎えました。現在、建物の老朽化やバリアフリーへの対応といった課題を解消するとともに、これまで非公開だった3階の公開やカフェスペースを新設することでさらに魅力的で訪れたい文化施設となるよう、令和11年（2029年）の再開を目指して改修を行っています。敷地内にあるもうひとつの洋館（旧前田邸）は、これまで活用方法を検討してきたもののいずれも実現には至らなかったこと、土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）内に立地し、がけ地の安全対策を実施する必要があること、また構造上の制約によりバリアフリー化が困難であること等の理由から、総合的に判断し解体を予定しています。

見学説明会では、文学館の改修計画についての説明に加え、洋館（旧前田邸）の部材の保存・再活用についてもご紹介いたします。

敷地内にあるもうひとつの洋館（旧前田邸）は、昭和46年（1971年）に居住用として建てられた建物です。文学館の改修に伴い解体を予定していますが、利用可能な部材を活用し、当時の記憶を残したいと考えています。見学説明会では、「これは残したい」「あれは何だろう」と感じた皆さまの素直な声を、ぜひお聞かせください。何を次代に継ぐべきか、一緒に考えていきましょう。

主催 鎌倉市文化課

問い合わせ先 0467-23-3000

イベント情報は
こちら

開催日程

7.30 水 and 8.3 日

- ・ 令和7年7月30日（水）10時00分～12時00分
- ・ 令和7年7月30日（水）14時00分～16時00分
- ・ 令和7年8月 3日（日）10時00分～12時00分
- ・ 令和7年8月 3日（日）14時00分～16時00分

各回45分を予定しています。施設見学のみも可能です。
混雑時には入場制限をする可能性があります。雨天決行・荒天中止。

- 開会
- 改修計画内容説明
- 洋館(旧前田邸)へ移動
- 説明・内部見学
- 意見募集
- 閉会

鎌倉文学館への行き方

電車をご利用の方

江ノ島電鉄「由比ヶ浜駅」から徒歩約7分

改札を出て右方向へ、踏切を渡る
「文学館入口」交差点を渡る
案内看板に沿って坂を上る

駐車場・駐輪場はありません。
公共交通機関でお越しください。



注意事項

安全面に関する注意

足元・段差にご注意ください。古い建物のため、段差や滑りやすい箇所があります。建物内はバリアフリーではありません。車椅子、ベビーカーの利用には制限があります。立ち入り可能エリアに制限があります。案内に従ってください。見学中の怪我や事故には十分ご注意ください。安全には配慮しておりますが、自己責任での見学となります。

環境・設備に関する注意

冷房設備がありません。気温・湿度にご注意ください。飲み物や帽子をお持ちください。会場にはトイレがないため、トイレの利用はできません。近隣の公衆トイレ（長谷寺駐車場または由比ヶ浜大通り）のご利用をお願いします。

その他

建物内の写真撮影は可能です。ただし、SNS投稿には、他の方の顔が映り込んでない写真を使用するなど配慮をお願いします。
敷地内の喫煙は禁止です。飲食は飲み物のみ可。動物の同伴は禁止です。

鎌倉文学館と洋館（旧前田邸）見学説明会



8月3日（日）10時～／14時～

鎌倉文学館、2029年の再開に向けて



ナルホド事始め | 鎌倉市公式
2025年7月29日 12:24

「あれ？文学館って最近やってない？」

という声を、ちらほら耳にします。

そうなんです！

今、鎌倉文学館は休館中で、2029年の再オープンに向けて大規模な改修に向けた準備を進めているところなんです。

そんななか、ちょっと特別な機会があります。

2025年7月30日（水）と8月3日（日）に、文学館の見学説明会を開催します。そこでは、文学館の改修に向けた説明や、解体を予定している敷地内にある洋館（旧前田邸）の“いま”を見ることができます。（そして、お申込みは不要です）

本記事では、そのご案内もかねて、「B面ノート」としてお届けします。

「B面」らしく、本題の合間に、ちょっと気になる寄り道となる情報も交えながら展開してまいります。案内人は、鎌倉市広報課の林正嗣（はやしまさつぐ）です。どうぞお付き合いください。

▼ 目次

「あれ？文学館って最近やってない？」

そもそも、鎌倉文学館はどのように生まれたか？

文学館はいま、どうなってるの？

📍 ちょっと寄り道 | 前田家の邸宅、じつは全国にいろいろあります

「洋館を壊すの？」という声について
📍ちょっと寄り道 レッドゾーンとは？
鎌倉文学館、さて、どんなふう生まれ変わる？
鎌倉文学館と洋館（旧前田邸）見学説明会のご案内、「見る・憩う・過ごす」場所へ
📅 鎌倉文学館と洋館（旧前田邸）の見学説明会
👁️ 内容

そもそも、鎌倉文学館はどのように生まれたか？

今でこそ「鎌倉文学館」として知られているこの建物ですが、もともとは、加賀藩前田家当主・前田利為（としなり）侯爵（加賀藩前田家の直系・第16代当主）（以下、前田侯爵）が別邸として建てた洋館です。



正式名「旧前田家本邸」（東京目黒区）。江戸時代に加賀百万石を誇った前田家16代当主・前田利為（まえだとしなり）侯爵が昭和初期（1929～1930年）に自邸として建てた大邸宅です。現在は目黒区立駒場公園の一部として一般公開されており、2013年に国の重要文化財に指定されています。

昭和11年（1936年）、前田侯爵の本邸は東京・駒場にありましたが、鎌倉に“別荘”として建てたとされています。いわば、静養や避暑のための“セカンドハウス”ですね。戦後しばらくは前田家が所有を続け、外交官や元首相らが別荘として利用していたこともあります。

転機が訪れたのは昭和57年（1982年）。前田家第17代当主・前田利建（としたつ）氏から、この旧前田侯爵家別邸と敷地が鎌倉市に寄贈されることになりました。この建物をどう活用するか。市としても検討を重ねた末にたどりついたのが、「文学館」というかたちです。

では、なぜ文学館だったのかという疑問がわきます。

それは、鎌倉というまち自体が、昔から多くの文学者に愛されてきた土地だからです。与謝野晶子や川端康成、大佛次郎など、名だたる作家たちがここで暮らし、書き、考えていた。「文学のまち」としての蓄積があったからこそ、この場所を“読む”空間にする選択が生まれたのでしょう。昭和60年（1985年）、鎌倉文学館としてオープン。現在に至るまで、展示や資料保存、文化イベントを通じて、鎌倉の言葉と記憶を伝える場所として使われ続けています。

文学館はいま、どうなってるの？

鎌倉文学館は、もともとは加賀百万石の藩主前田利家公の系譜となる前田利為侯爵の鎌倉別邸。したがって、私たちは、場合によっては

鎌倉文学館（旧前田侯爵家別邸）

と表記をすることがあります。鎌倉文学館としては1985年に開館。年間約10万人以上の来館者がある鎌倉の観光名所のひとつと言えます。ただ、築90年近くにもなれば、さすがにあちこちに老朽化もあります…

- ・ 建築設備の老朽化
- ・ バリアフリーへの対応（エレベーターの設置なし）
- ・ 展示スペースの不足
- ・ 安全面（災害時の対応など）にも不安あり

と課題が積み重なり改修をすることとしました。再開は2029年になっています。

📍ちょっと寄り道 | 前田家の邸宅、じつは全国にいろいろあります

鎌倉文学館の建物は、昭和11年（1936年）、当時の加賀前田家第16代当主・前田利為（としなり）侯爵によって建てられたものです。当時、前田家の本邸は東京・駒場にありました（現在も国指定の重要文化財として保存されている「旧前田家本邸」）。駒場の邸宅は、和館と洋館が並ぶ堂々たる造りで、当時の加賀藩主家の威厳や美意識が色濃く表れています。一方で、ここ鎌倉の邸宅は“別邸（別荘）”として建てられたものとされています。前田家に縁ある建築物・邸宅は各地にあり、それぞれが個性的です。

「前田家ゆかりの建築物・邸宅リスト、その一部！」をつけておきました。気になる方は、ぜひ。

鎌倉文学館の休館及び改修について（鎌倉市ホームページ）
文化庁「登録有形文化財（建造物）」鎌倉文学館

「洋館を壊すの？」という声について

ここでひとつ、よくある誤解があります。

「文学館って鎌倉3大洋館じゃないの？ そんな建物を壊しちゃうの？」

という声を時々、耳にします。
とんでもない、鎌倉文学館を壊すことはありません！
誤解が生まれないよう、整理します。

現在	旧	概要・特徴
鎌倉文学館	旧前田侯爵家別邸	鎌倉三人洋館のひとつ。1936年築。2029年に向けて改修準備へ
敷地内にある洋館	旧前田邸	1971年築。前田家が住居として敷地内に建築した家屋。

今回解体するのは鎌倉文学館（旧前田侯爵家別邸）ではなく、敷地内にある洋館（通称：旧前田邸）です。1971年に居住用として敷地内に建てられた建物です。

解体の理由は、この洋館が、これまで活用方法を検討してきたものの、実現には至らなかったこと、**レッドゾーン（土砂災害特別警戒区域）**に位置していて、安全性を確保するのが難しいこと。さらに、構造上の制約から、バリアフリー化が困難だったことなど、総合的に判断したものです。

解体とはなりますが、スタンドグラスはもともとあった文学館に戻したり、瓦も再活用したりすることで、文学館の魅力を高めることを考えています。そうした“記憶の継承”も含めて、見学説明会でお伝えできればと思っています。

敷地内にある洋館（旧前田邸）の主な解体理由

- 転用制約：邸宅（住居）仕様のため、公共施設として必要な機能の整備が困難
- コスト負担：保存・活用には多額の初期費用と維持管理コストが発生（文化財としての位置づけなど）
- 災害リスク：レッドゾーン（土砂災害特別警戒区域）内にあり、安全確保が困難

📍ちょっと寄り道 | レッドゾーンとは？

名称	所在地	概要・特徴	文化財
成翼閣 (なでてんかく)	石川県金沢市	13代藩主・前田斉泰が母のために1863年に建てた奥方御殿。書院造に数寄屋風を融合し、欄間や意匠に加賀藩の華やかさが表れている。庭園は国の名勝で四季の風景が楽しめる。	国指定 重要文化財
旧前田家本邸 (駒場本邸)	東京都目黒区	16代・前田利為が1930年に建てた洋館と和館からなる邸宅。洋館はチューダー様式、和館は伝統的和風建築。戦後はGHQに接収され、現在は駒場公園として公開中。	国指定 重要文化財
東大赤門 (旧加賀屋敷御守殿門)	東京都文京区	1827年、13代・前田斉泰が将軍家の邸を迎えるために建立。アーチ・デコ様式やチーク材、大理石玄関などが特徴。戦後川家の墓所と前田家の墓跡が残された城ヶ池の門で、東京大学の象徴として親しまれている。	国指定 重要文化財
鎌倉文学館 (旧前田家鎌倉別邸)	神奈川県鎌倉市	1936年に16代・前田利為が建てた鎌倉別邸を前身とする洋館。アーチ・デコ様式やチーク材、大理石玄関などが特徴。戦後は外交官や貴族の別荘を経て、現在は文学館として活用。	国登録 有形文化財



東大の「赤門」は、加賀藩前田家に由来しています。文政10年（1827）、当時の加賀藩13代藩主・前田斉泰が、徳川第11代将軍・家斉の娘である浴姫（やすひめ、ようひめ）を正室に迎える際、御守殿（ごしゅでん）と呼ばれる住まいとともに建立されました。

なんと、東京大学の赤門も前田家に縁ある遺構と知り、あらためて、加賀百万石の名にふさわしいスケールを感じます。前田家ゆかりの名所は枚挙にいとまがありません。金沢城から兼六園、成翼閣のほか、尾山神社や宝円寺、さらには富山の国宝・瑞龍寺など、加賀百万石の史跡は地域を越えて点在しています。

参考文献・参照元一覧（リファレンス）

■ 成翼閣（石川県金沢市）

成翼閣公式サイト

金沢市観光公式サイト（成翼閣）

文化庁「国指定文化財等データベース（建造物）」成翼閣

■ 旧前田家本邸（駒場本邸・東京都目黒区）

東京都生涯学習情報「旧前田家本邸」（東京都教育委員会ホームページ）

歴史を訪ねて | 旧前田家本邸（目黒区ホームページ）

文化庁「国指定文化財等データベース（建造物）」旧前田家本邸

■ 東大赤門（旧加賀屋敷御守殿門・東京都文京区）

国の重要文化財 指定（東京大学ホームページ）

「東京大学赤門」（文京区観光協会ホームページ）

文化庁「国指定文化財等データベース（建造物）」旧加賀屋敷御守殿門（赤門）

■ 鎌倉文学館（旧前田侯爵家別邸・神奈川県鎌倉市）

「レッドゾーン」とは、「土砂災害特別警戒区域」を指します。これは、土砂災害防止法（正式名称：土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律）に基づき、がけ崩れ・土石流・地すべりなどの災害が発生する恐れが高いエリアとして、神奈川県が指定している区域です。

概念	急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域で、特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われます。
指定権者	神奈川県
指定にともなう制限・義務	<ul style="list-style-type: none">新たな住宅や福祉施設などの建設に制限がかかる既存の建物の構造強化が求められる場合があるハザードマップ等への明示が義務付けられている

鎌倉文学館、さて、どんなふう生まれ変わる？

2029年の再開を予定している文学館は、ただ直すだけではありません。

コンセプトは「見る・憩う・過ごす」。

具体的に言うと、

1. **バリアフリー化**：エレベーターを新設するほか階段手すりやトイレ等を整備し、誰もが利用しやすい環境に
2. **3階公開**：非公開だった空間を開放し、鎌倉の別荘文化を体感できる場に
3. **展示再構成**：展示スペースや動線を見直し、よりわかりやすく親しみやすい空間に
4. **ショップ・カフェ新設**：滞在の楽しさを広げ、訪れる魅力を高める機能を追加

カフェフリースペースは、修学旅行や遠足で訪れた子どもたちが、お弁当を広げてひと息つけるような場所も確保する予定です。
展示を見たあとのちょっとした休憩やおしゃべりの時間が、その場所の記憶と一緒に残っていく。この場所が、訪れた方々にとって、「また来たい」と思える体験を提供できればと考えています。

観光で訪れる方々はもちろん、地元の方々にも日常の中で気軽に立ち寄っていただく。
近隣の方が、お散歩の途中に立ち寄って、お茶を飲み、展示を見て、誰かとゆったりした時間を過ごす――
ふと訪れたいくなる居場所になることを目指しています。

鎌倉文学館と洋館（旧前田邸）見学説明会のご案内、「見る・憩う・過ごす」場所へ

ここまでお読みいただき、ありがとうございました！
さて、ご紹介した内容を、実際にその“場所”で体感できる機会があります。

鎌倉文学館の改修について、皆さまにより深くご理解いただくため、また、解体を予定している敷地内の洋館（旧前田邸）の見学を含む説明会を開催します。見学説明会では、文学館の改修計画の説明に加え、洋館（旧前田邸）の部材などの保存・再活用についてご紹介いたします。

鎌倉文学館と洋館（旧前田邸）の見学説明会

開催日程 令和7年（2025年）
7月30日（水） 10:00 – 12:00 14:00 – 16:00
8月3日（日） 10:00 – 12:00 14:00 – 16:00
会場：鎌倉文学館（神奈川県鎌倉市長谷一丁目）
申込み：不要です（直接お越しください）
参加費：無料

内容

- ・開会
- ・文学館 改修計画説明
- ・洋館（旧前田邸）へ移動
- ・洋館の説明、内部見学
- ・意見募集
- ・閉会

ここまで長い文章をお読みいただき、本当にありがとうございました。

B面ノートとして、少し寄り道もしながら、気になる話題や豆知識も織り交ぜてみましたが、いかがでしたでしょうか。歴史ゆたかな鎌倉を見直してみると、思いがけない逸話や風景に出会えるものです。書くのは、正直たいへん。でも、それ以上に楽しい発見があります。

まさに、灯台もと暗し。

今回はここまで。
最後までお付き合いいただき、本当にありがとうございました！

鎌倉市広報課 林正嗣
鎌倉市文化課

鎌倉文学館、2029年に再開予定

鎌倉文学館と洋館（旧前田邸）見学説明会

本日は見学説明会にご参加いただき、ありがとうございます。鎌倉文学館は1936年に建てられた旧前田侯爵家の別邸（別荘）を活用し、長く親しまれてきました。今回、初めての休館を伴う大規模改修を進めており、「見る・憩う・過ごす」文化施設として2029年春の再開を目指しています。

開催概要

開催日：2025年9月30日（火）

時間：① 10:00～12:00

② 14:00～16:00

会場：鎌倉文学館庭園・敷地内洋館（旧前田邸）

主催：鎌倉市 文化課

本日の流れ

集合：鎌倉文学館正門 付近

アクセス可能エリア：

鎌倉文学館周辺・招鶴洞（しょうかくどう）・敷地内洋館（旧前田邸）

- 上記エリアは自由に見学できます。
- 文学館前において、職員が文学館及び改修についてご説明いたします。
- 敷地内洋館（旧前田邸）にて、ご意見ボード・アンケートを実施しています。
- 文学館前にて、「ご意見・質問タイム」を午前・午後の各回に設けています。

①11:30 - 12:00 ②15:30 - 16:00

チェックポイント

開催時間中、以下のポイントを自由に行き来ができます

鎌倉文学館

- ・ 職員による説明を各回2回開催
- ・ 「ご意見・質問タイム」を午前・午後に開催（11:30-12:00, 15:30 - 16:00）

招鶴洞（しょうかくどう）

- ・ 工事の都合で今回は通行可能

敷地内洋館（旧前田邸）

- ・ ご意見ボードとアンケートを実施
- ・ 保存・活用に関する皆さまの声をぜひお寄せください。



その他・ご注意ください

- ✓ 安全のため、指定された場所以外の立入りはご遠慮ください。
- ✓ 会場内のお手洗いはご使用いただけません。（改修に向けた準備中のため）
- ✓ 近隣の公衆トイレとして、長谷寺駐車場（長谷3-11-2）または由比ガ浜大通り（由比ガ浜2-4-39）がごございます。
- ✓ 文学館前庭、洋館（旧前田邸）はバリアフリーに対応しておりません。ご了承ください。
- ✓ 説明会は文学館（屋外）で行います。会場内は冷房設備がありません。飲料水等をお持ちいただくなど、熱中症対策をお願いします。

お問い合わせ

鎌倉市 文化課

☎ 0467-61-3854

bunka@city.kamakura.kanagawa.jp

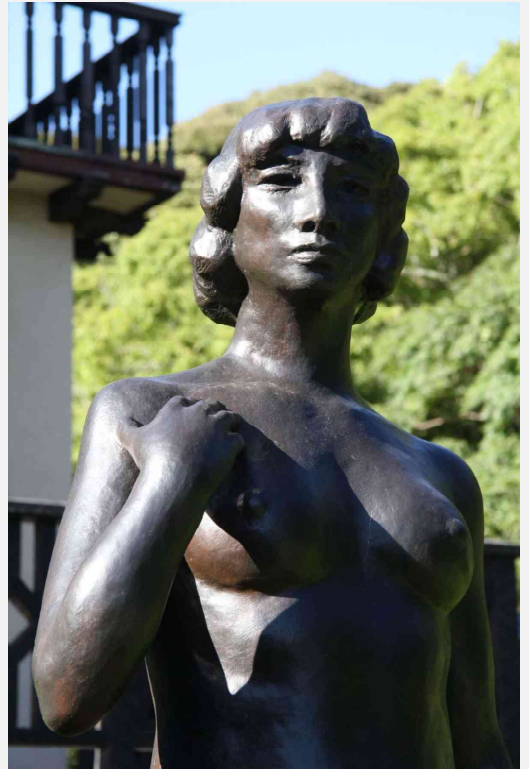
鎌倉文学館の魅力

- (1) 年間 10 万人以上が訪れる観光スポット
- (2) 旧大名家 加賀 100 万石の前田家の別邸
- (3) 昭和 11 年建築 3 階建て延べ床面積 1000㎡を超える洋風大型建築物
鎌倉の 3 大洋館のうちの一つ。
- (4) 前田家から引き継いだしょう洒な建物を文学館として活用

【鎌倉市景観重要建築物等（平成 2 年 10 月 1 日 指定第 1 号）】

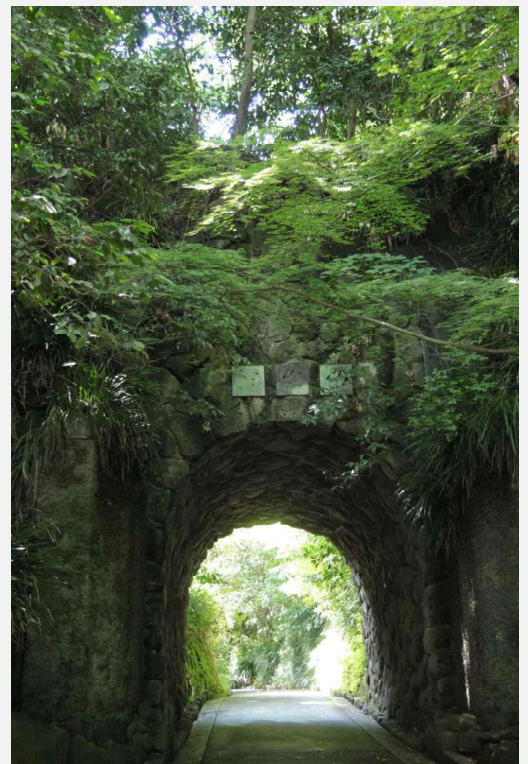
【国登録有形文化財（平成 12 年 4 月 28 日 登録番号 14-0041 鎌倉市第 1 号）】

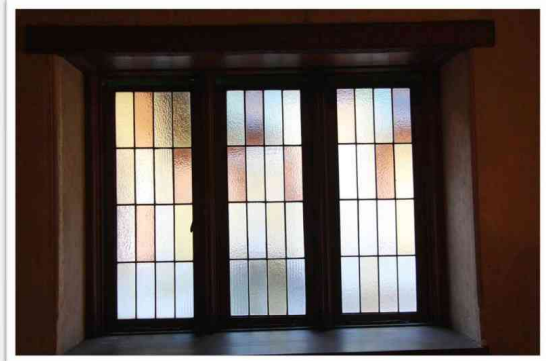
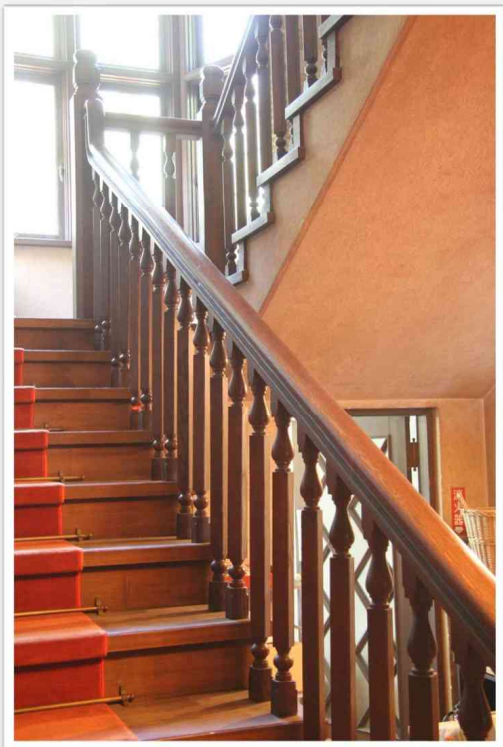
【鎌倉市歴史的風致形成建造物（令和 2 年 3 月 10 日 指定番号 第 3 号）】



鎌倉文学館の魅力 その 2

- (5) 鎌倉文士、鎌倉にゆかりのある文学者の資料を
1 万 5,000 点以上所蔵
- (6) 季節に応じて文学館を彩るバラ園
- (7) 南に、海を見下ろし、三方を山に囲まれた立地は、
古都鎌倉のスケールダウン
- (8) 明治から昭和の初めにかけての別荘地として発展
した鎌倉の象徴





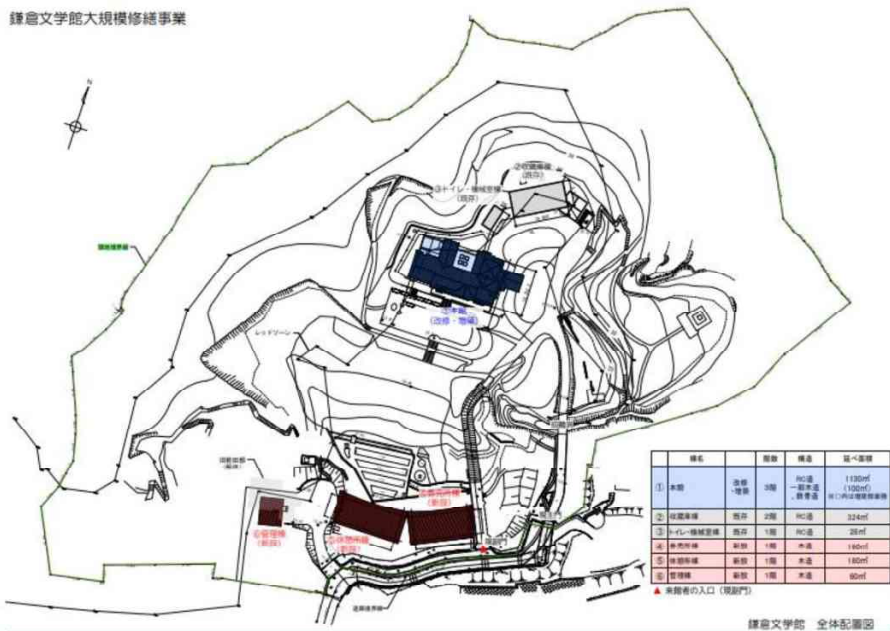
もっと魅力的で訪れたくなる鎌倉文学館へ

- (1) 歴史的建造物として魅力が拡大
これまで見ていただくことが出来なかった3階を公開
鎌倉の別荘文化を、華族の豪華な暮らしぶりを肌で感じてください 3階は写真撮影も可能
- (2) 滞在型の文化施設へ
ご要望の多かった喫茶スペースを拡充
バラ園と洋館を臨みながらゆったりと珈琲等をお楽しみいただき、文学館に浸ってください
- (3) 多くの人が利用できる施設へ
エレベーターの設置や段差の解消によるバリアフリー対応
フリーの休憩スペースを設け鎌倉観光のちょっとした休憩にも対応
- (4) 文学館資料展示の充実
展示ケースを刷新し見易く、知的好奇心を満たします



敷地の一体活用 | 動線の見直し | 券売所棟・休憩所棟の新設

鎌倉文学館大規模修繕事業



- 新設の券売所棟、休憩所棟は、景観重要建築物等の敷地内にある建物として、鎌倉文学館を引き立て、周囲の緑に溶け込むデザイン
- 管理棟は、かつての前田家の記憶を残すよう瓦の再利用など趣を残す配慮

旧前田邸・・・こんな活用計画が検討されました

- アートビレッジ構想（芸術家の芸術活動・生活の場）
- 教育支援施設
- 美術品展示施設
- 休憩所
- 文化交流の場
- サウンディング調査
- 文学館の付帯施設（喫茶ほか）
- 図書館近代史資料室

いずれも実現に至らず

- 個人住宅と公共施設
- 耐震診断及び補強が必要（新耐震基準前の建築）
- 市街化調整区域（用途制限）
- 段差が多い（バリアフリーへの対応）
- 土砂災害警戒特別区域への指定
- 保存活用のための改修の費用に加えて、維持管理の費用
- 文化財的位置づけはない



ここに注目！

～本館から移されたステンドグラス～



現鎌倉文学館 2 階・談話室（昭和11年の様子）



本館から移されたステンドグラスは全部で3か所。
今回の改修で元の場所に戻し、
本館を彩っていた当時の姿を
甦らせます。

鎌倉文学館改修計画に伴う解体予定の洋館（旧前田邸）見学説明会

ご意見ボード「これいいね！」まとめ（2025.8.3）

- 1 玄関ドア
- 2 休憩所がよくある、今風の建物でガッカリした。
- 3 ステンドグラスがすてき
- 4 階段のアイアン、照明などインテリアを残して新しい建物にいかしてほしい（ムキシツ）
- 5 建物、調度品、ステンドグラスすべて
- 6 これ以上鎌倉の貴重な建物を壊さないで！！
- 7 ステンドグラス
- 8 シャンデリア、ステンドグラスキレイで残していただきたいです
- 9 ステンドグラス、照明など残し建物を利用（改修して）
- 10 建物全体
- 11 玄関ノブと照明を破壊さるなら談受したいです。
- 12 建具やライトは再利用して下さい あと、もっと早く建物を活用してくれていれば…と思いました
- 13 百歩ゆずってカフェ新設するならば、地域住民の防災（特に津波）拠点の機能をもたせて！
- 14 これは残すべきだと思う。他に残している所はいくつもあります
- 15 管理棟、カフェを別につくるなら、この建物をそう活用すればよい
- 16 市の説明は公平な説明ではなく、わざと旧前田邸を壊してもいいと思わせるものでした
- 17 残して下さい！！
- 18 カフェをつくるならこの建物を改装してカフェにしてほしい。
- 19 ステンドグラス
- 20 壊すのは簡単ですが残して欲しい。
- 21 傷みが激しいので全体の保存は無理と感じました ステンドグラスや照明など残せるものは残してほしい。
- 22 よくあるカフェという印象。
- 23 “鎌倉らしき”を追求して欲しかった！
- 24 玄関灯
- 25 絶対壊してはいけない 日本遺産 別荘文化はどうなった
- 26 防災拠点としての利用を望みます 先月の津波警報の時に必要
- 27 取り壊し建て替費用と最低限の保存利用と費用等の説明は？
- 28 文化財としての価値以外に後世に残すべきものはあると思う。考えを。
- 29 鏡、フック、電灯など調度品が全て素晴らしい。
- 30 新しく価値を生む施設として（HOTELなど）保存、改修、利用を求めます。
- 31 照明
- 32 ステンドグラス、灯火などは残して、部屋の雰囲気も残してほしい。建物は残さなくて良い。
- 33 どこを残したいかではなく、全体を残さなくては意味がない！
- 34 玄関 鉄平石
- 35 玄関照明
- 36 ステンドグラスなど欄間飾り残してほしいです。
- 37 玄関の門灯
- 38 解体ではなく利活用の方策を！
- 39 開智学校のように建物を保存すべき
- 40 ステンドグラスがステキでした
- 41 全てを保存する事で一体的なちがある
- 42 旧前田邸も復原させて鎌倉文化館とともに活用をして残すべき
- 43 ステンドグラス
- 44 新しく建てるのではなく改修してカフェにしては
- 45 改修して、このまま保存。文学館と同時見学できるようにしてください。壊したら2度と造れない
- 46 玄関底
- 47 ステンドグラス、前田家の紋残しておいたほうがよい。残しておいたほうが良さそうな照明
- 48 管理塔として活用すべき
- 49 思い出を記録してください
- 50 鎌倉にふさわしい建物である為、解体断固反対
- 51 このまま管理棟へ改修すればよいと思います。
- 52 残すのは難しいと思いました ステンドグラスやランプなどは残すべきです
- 53 客観的に見れば、昭和30～40年代の高級個人邸宅や文化財としての価値は感じなかったが、調度品は非常に良い物を使っており、ランプやベチカその他の什器を極力残して欲しい（建物は）1971年のものなので残さずともよい。
- 54 旧前田邸が拝見できて良かったです。文学館は残し、こちらは建て替えて新しい価値を生む事に賛成です！！

- 55 ステンドグラス！
- 56 改修して、元の姿に戻して残そう！
- 57 壁に取り付けられている物かけの金具
- 58 カフェ スタバじゃなくて、もう少し考えてほしい。ステンドグラスは全て再利用してほしい。できればかんそり保存！
- 59 部材などできるだけ利活用して面影を残したい
- 60 緑のタイルも残してください
- 61 とにかく一度止めて下さい
- 62 玄関ドア、玄関の照明、室内の照明、健具
- 63 お風呂のアヒル ステンドグラス全部
- 64 昭和46年当時に復原して残してほしい。
- 65 旧前田邸（洋館）もまた当時のように復原させて残して活用するべき（山手の洋館のように）
- 66 ステンドグラスはどこかに移して保存
- 67 全ての凍結保存は不要
- 68 建物のレレギ情報の保存
- 69 和栗や床柱他
- 70 窓やガラス戸の上のステンドグラス
- 71 階段手摺、玄関の鏡、照明、タイル
- 72 放置したらただの廃墟だね
- 73 ここをカフェにして使ったらよかったじゃないですか。本館に今さら作らなくとも。
- 74 新しいものを作るのではなく、真の活用を！！
- 75 ガラスがはめ込まれたドア
- 76 バルコニー、キャノピー、手摺、ステンドグラス、暖炉、スバラッシュ瓦、窓
- 77 照明
- 78 管理棟とすべき 不特定多数もレットゾーンもクリア
- 79 ステンドグラスは残してください
- 80 敬見する上質な建材
- 81 各部照明
- 82 ワイン庫
- 83 車寄せ
- 84 保存、修復を望みます。立地的な問題なら移築すべき
- 85 洋館全体をセットで残すからこそステンドグラスなど個々の部分も意味を持つ。何かだけ残してあとは壊す発想がまちがい
- 86 ステンドグラス
- 87 丸いステンドグラスすてきでした
- 88 他でもこの様な家残されてました
- 89 風呂のタイル
- 90 ドアをのこす 風呂のステンドみたいな丸っぽいガラス
- 91 マントルピース
- 92 全て残す
- 93 解体に至った決定プロセスか不透明とのことでワルイね。
- 94 部屋別直通電話
- 95 窓
- 96 1971年？当時の姿のまま文学館といっしょに全部残すこと
- 97 門
- 98 ステンドグラス
- 99 バルコニーの前田家の紋
- 100 バルコニーの前田家の家紋
- 101 階段の所に巾着られているシャンデリアのような電灯素敵！
- 102 金箔の仏間
- 103 当時の資材！！もっと色々な人に魅せて下さい。タイル、アイアンパーツ全て、壁紙、記憶の伝承
- 104 ここまで放置して置いたのは罪、保存しよう！
- 105 フロのアヒル
- 106 ここに存在し続けることが大切。
- 107 ぜひ壊さないでください。利用価値があります（カフェ）
- 108 玄関照明、ドア、小窓、バルコニー手摺
- 109 1階暖炉
- 110 階段手摺
- 111 バルコニーの桐鉢家紋
- 112 メリハリのある保存（全てはやめてほしい）

113 照明器具 & ステンドグラス & 建物プラン & 外観

114 前田家の威光が残る

115 玄関のファサード

116 正面バルコニーの紋

117 イギリス式蝶番

118 文学館大好きです♡度々訪れていました。閉館の時間が長びくことが悲しいです。

119 閉館の間に様々なものが朽ちていくのが悲しいです。素敵な場所になりますように。

120 このまま建物を大切に他の方にも見てもらいたい

121 なぜ登録有形文化財にできなかったのか

122 ステンドグラス、入口庇の支柱、アーチなど再利用保存。各室の照明ランプを再利用できます。

123 ステンドグラスは絶対残して

124 鎌倉の威厳を守れ！

125 保存再生セミナー建築へ転用しましょう

126 保存はムリ！照明器具やステンドグラスを文学館へ～！

127 屋根瓦も保存再生利用できます。階段の手すりなども工芸品として再利用できます。

128 S46当時に戻して残して欲しい。

129 セットで残してほしい

130 玄関ドアを残してください

131 傷んでみえますが、手を入れれば充分趣きのある建物として使えます。これを直して管理棟とすることを提案します。

132 間取り（目的別、使用者別）

133 全てが良かったです！「個人の建物」として美術あるいは民芸品として保存に値する

134 保存しない理由よりどうすれば保存できるかを知られて。

135 30年先から見たら立派な文化材

136 全部そのまま

137 建物を残してほしいです

138 修理は簡単では？

139 電傘

140 現行計画を強く支持

141 残して欲しいという声を聞くのでせめて、デジタルアーカイブスが残れば幸い。

142 この建物の記録を残すにはデジタルアーカイブス、LiDAR、ワークスルー表示技術が使ええるといいです。

143 この建物自体全部残したい

144 作り付家具類

145 照明やカーテンレールは残したら良いと思う。

146 すべてを残す。

147 擁壁を整備してRedzone解除もしくは、曳屋して管理棟として活用する。

148 新たな建物は海風を遮り配置が悪い。将来的な管理コストを考えると新たな建物は不要。

149 HORIの金物、照明は保存活用すべき。欲しいです。

鎌倉文学館改修計画に伴う解体予定の洋館（旧前田邸）見学説明会

ご意見ボード「これいいね！」まとめ（2025.9.30）

- 一年に一、二度風いれなどしてこの建物を大切にすることさえしてこなかった市の姿勢がよくわかる保存状況です。文学館からは3Fからの眺望も楽しめるようするといえながら、その眺望をさえぎるように新しいカフェを作る計画。眺望を自ら邪魔する矛盾だらけの家。
- 全て残すべきです。築150年の古民家が改修され再利用されているのに、竹中工務店が建てた築50年そこそこの建物が残さないはずがない。
- 鎌倉の財産をなくしてほしくない。
- この洋館リニューアルし入口をスロープにすれば、たとえば1Fは、この旧前田邸敷地全体の受付として使えます。ここに来ていただく方に鎌倉しさを楽しんで頂くためには、取り壊しではなくリニューアルしかないと思います。建物を壊す＝殺すということです。
- 建物の全体外部は残し必要な補強改修してください。50年前の前田邸は、現在の暮らし・住宅とも大きく違い、記録にもなります。山に抱かれた静かな雰囲気は残して、うるさくない喫茶室にしたらいかがですか。アーティストが騒いだりするの歓迎できません。
- 放置した分、建物は傷めますが、構造や建築は堅固にみえます。耐震診断せずに解体は鎌倉市として汚点になると思います。3D、4D記録保存、家具保存を希望します。
- 歴史的建造物としてはちょっと疑問？調度品等などは再利用してください。
- 見学させて頂き、歴史建造物は残すべきです。残す方法で検討をお願いします。
- 前田邸リフォーム可能。
- この建物が市で活用が難しいのは、理解できました。長く見殺しにするより早く民間に投げて欲しかったです。決断しなかったのはどなた？
- なぜ壊すの？修理すべき。寄付者との約束を守るべし。
- 前田邸解体について理解できました。内部を拝見し、これは難しいだろうと。ステンドグラスなどは保存できたなら素敵だと思います。内部の施設については昭和遺産といった具合、有効活用の道筋も考えられたとは思いますが、個人的には難しいと感じます。
- 全てがステキ。解体しないで欲しい。崩すのは簡単、崩してから大切だったと思って遅い。どうして鎌倉は、良いものを壊して今っぽいものを作りたがるのか。
- こんな廃墟にしたのはひどすぎる。全くメンテナンスしていない。
- 建物、内部も痛みがひどく、故意に放置。破壊したのかと思いました。新築イメージ図は、八幡宮のカフェに類似。同じ設計業者？現在の隠れ家的な、ひっそりした雰囲気を残存すべきです。
- 思っていた以上に傷みがあり複雑な気持ちになりました。意外と質素な暮らしをさせていたのが、びっくりしました。
- 保存の方向で再考すべき
- 洋室の照明、壁の飾りなど、できるだけ利用されたい。
- 調度品を含め手の込んだ造作が多く見られ、なぜもっと早くに手入れをすることが出来なかったのかと非常に残念な思いです。価値の分かる人に見てもらい、残せるものは残すべきと思います。
- 前田邸に並列するように建てられるカフェ等は何の為に作られるのですか？鎌倉市民と鎌倉をながしろにして、観光客に満足してもらうためですか。現存の前田邸を活用することで、文学館の意義もでくると思います。
- タイルや照明、壁紙どれも素敵なので。残せるものは残してステンドグラスと一緒に文学館で展示してほしい
- ぜひ現代に合った保存活用をお願い!! 15年間何もしていないとは市が放置していたとしか受け取れない。現在は過去の積み重ね。上手に融合して、より良いものができると考えられる。15年間の説明を実現してください。壊すために放置していたとしか考えられない。
- ステンドグラス、照明、建具のものも。本館に移設するだけでなく、カフェや管理棟でも活用してください。バルコニーのフェンスの前田家の家紋のついているものも。
- 新しい建物には、上野公園のスタバのようで、市税を投入するほどの魅力は感じません。アイアンワークは再利用、もしくは販売で心ある方へ。
- 保存は難しいようですが、ぜひ写真展や語り部ツアーを続けて欲しい。家紋、ステンドグラス、タイルは残してください。
- 今風のどこにもあるカフェを建てるのではなく、歴史のある手の込んだ作りの今の洋館を、なんとか綺麗に改修して使うことを考えるべき。
- 市民が由緒ある旧前田邸で集会出来るようになるといい。市民の誇りです。
- 正面バルコニーの手すり残してください。
- 拝見して怒りが沸いてきた。なぜこんな風情がある建物をカビカビになる迄放置していたのか。なぜ壊してしまうのか。なぜ二つの前田邸の雰囲気をぶっ壊すのか。インバウンドや映え写真の好きな日本の若者目当てのしょうもない今時どこにもあるつまらないカフェを作ろうというのか。バリアフリーなんて不要な人間には不要である。現に京都の町家のゲストハウスなんて大人気である。予算が問題なら、クラファンでもふるさと納税でも活用すればいい。端サブレーのふるさと納税限定のグッズをつけてうまく運用されては。文化財としての価値をうまくアピールして相当程度カバーできるだろう。建物はこの時代を知る人には懐かしく、知らない人には昭和レトロである。バリアフリーじゃないガタガタが風情を醸し出す。どうか、文学館の雰囲気やハーモニーを作り出すカフェなりゲストハウスなり研究者向け滞在施設なりに活用して頂きたい
- 全てを保存して維持管理活用するのはいろいろな面でとても大変だと思います。今回、一部でも既存利用するのはとても良い。今までに、年に数回でも一般公開してたら違ったかもしれない。
- 解体は残念ですが、後世に間取りや調度類など模型や図面を残して欲しい。ペルコニーの家紋は是非残して下さい
- ステンドグラスは残してください。解体前に内部をVRにして（歩き回れると尚よい）綺麗な部屋を再現し、Webに公開してほしい。
- S46築ということで、私の育った環境と変わらない。しかしここに旧前田邸があったという事実を残すために外装を残して内装はアブタヌンティーを提供する施設にしてみてもは。
- さまざまな装飾品や電灯、壁紙などに昭和の良さを感じた。
- こんな安っぽいティールーム。もっと良いものを。

- 床暖房や埋め込み暖房など設備の歴史的博物館的な価値も高い。古い設備はとても貴重です。
- 古都鎌倉、それも住んでいらした建物。手入れをしなかった鎌倉市は何とも悲しい。”古都”は中世だけではなくありません。
- 現在の建物をイメージ図に置き換えると違和しない。環境も雰囲気も守る意識必要。スタバなんて不要。
- 鎌倉市の罪は大きい。なぜ手入れはされなかったのか？
- 前田家は鎌倉市ならと思って、この建物を託したと思います。16年間風を通さず、しめっぽんにして放置した罪はどれくらいか。壊したら2度と同じものにできません。古都鎌倉の良さを守ってください。
- 歴史的な価値のある照明器具、ステンドグラス、家具、前田家の家紋入りのベランダの手すりは残して、何らかの形で展示して欲しい。
- 鉄柵家紋、ステンドグラス類
- 建物を壊して何か調度品を残すだけでは保存ではない。管理棟、カフェを新設するのなら、この建物をリニューアルして活かせば良いだけのこと。バリアフリー化は可能です。切り刻まないで。市長をかえれば、方針変更できますよね。
- 前田家の家紋入りのベランダ
- 駅裏のスタバの2番煎じみたいなカフェは不要。元住宅を元に、ウエディングフォトとれるようにしたり、一軒家式の宿泊施設にしたら良い。（一泊30万円以上も可）
- 全て歴史的建造物としての価値、さらに住まれていたという建築文化的価値は大変大きい。問題ある段差は、和室に上げる1ツ砂…
- 管理棟の入口は、せっかく旧材を使うのでオリジナルの窓、扉を再現して欲しい。車庫の扉、うめばちバルコニーも使って欲しい。模型で残して欲しい。
- コーヒーを来館者に提供するなら旧前田邸を残していかすのが一番良い
- 貴重な文化財を壊すなんて。15年間放置してなければもっと再生の可能性もあったはず。一部残したところでこの価値は伝わらないでしょう。
- 観光の船にまみれた利便施設をすることは反対。同じような施設は他に沢山あり、市民の税金を使って作るものではない。税金を使うなら旧前田邸の保存活用に使って下さい。
- 緑の中にある旧前田邸のなんと綺麗なところ！これを15年間も放っておいた鎌倉市の罪は大きい。一度なくしてしまったものは帰ריません。
- 新築予定施設の青写真を見て、当建築物を拝見すると、新築予定施設がいかに陳腐かわかります。こちらを修復し直す手立ではないでしょうか。吉屋信子邸のようにしていただきたい。
- 玄関前のライト素敵なので残して欲しい。
- 建物は残さず出来るだけ残してください。二度と同じものは出来ません。大切な市の遺産です。
- 休憩所は、文学館の雰囲気に合わせてクラシックなデザインにしてほしい。
- ランプ、マントルピース、階段部の皿、応接間のステンドグラス、机、イス等の移設活用は可能と思う。経緯はともかく現状を考慮すると、完全な保存は不可能であるとともに、1970年代の個人宅は、全国に数多くあり、本物件を残す意義は少ない。
- 利便施設のデザインがスタバや八幡宮のカフェと同じでつまらない。部屋の建具で筐体が見えそうなもの、暖炉を利用し、もう少し文学館とデザインを合わせてもらいたい。壁面は黒板壁ではなく洋館の壁のイメージの壁紙。洗面所のタイルとか使えれば良いが。
- どこにでもある新たな建物いりますか。八幡宮にも似たようなものがあります。こんなものを作っても人はあまり来ないと思う
- 旧前田邸を利用できるように、市民に参加できる委員会を設けてください。役所の説明は、いつも解体ありき
- 3階和室前の吊り下げライト、素敵なので残して欲しい
- 洋館の再活用が難しいそのなは理解しました。一帯の景観を損なわない改修を期待します
- 文学館に入つてすぐの鎌倉に縁のある作家のマップを残して欲しい
- 新しい建物が、せっかくの庭の価値をダメにしていまいます
- 絶対保存してほしいです
- 旧前田邸内部を実際に見て、確かに文化財的価値はあまりなさそうでした。あくまで人の住む家という印象で、一般向けの活用は思い浮かびません。暖炉のある居間はかうして何か古き良き点がありそうです。そこから何かを後世に伝えるものとして保存して頂けたらと思います、
- スタバみたいな建物はいらない。木の伐採はフライング、あてつけか。
- 休憩所のデザインがスタバみたいで、クラシックな雰囲気がなく残念。
- 照明器具や調度に使われた物等、使える物は、新しく作る棟に使ったり、意匠を生かす等、レトロな雰囲気のものを作ってください
- せめて元の建物の外観の雰囲気だけでも残して欲しい。新文学館の案が、余りに退屈（東京によりそう）なものでガッカリ。
- 壊すより直して残してください
- 鎌倉市は寄付された建物に対しての保存の精神が全くない。寄付されたら管理をするのがあたりまえ放置は許さない
- これほど痛みがひどいとは。ステンドグラスは残してください
- 長期間放置して古くなったから壊すはないでしょ。バリアフリー化困難というが、入口をスロープにすれば階段以外の段差は少額で解消でき、こわす理由にならない。全部残して見学できるように
- 耐震検査をして外観は保存、中は整備して事務所として活用しても良いのではないのでしょうか。
- ステンドグラスは、とても素晴らしいので、残してください。建物は痛みがひどすぎて残す価値はないと思う。
- 壊さざるを得ないにしても、今の案はない！ 文学館と合う、文学作品を愛するタイプの人が集うようなカフェにしてください。鎌倉の本来の真髄は、スラムダンクの踏切で映え写真を撮ったり、小町通りで安っぽい土産物にたかる人々が作るようなものの対極なところにあり、文学館という施設はその象徴・代表のものです

資料 6

鎌倉文学館改修計画に伴う解体予定の洋館（旧前田邸）見学説明会 アンケート集計結果

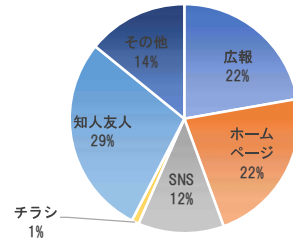
令和7年（2025年）8月3日（日）

参加者 350 回収率
アンケート回収 80 23%

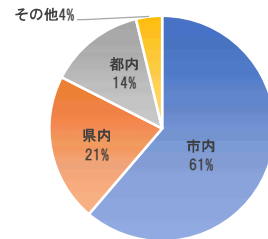
●本日のイベントは何で知りましたか。（複数回答可）

1 広報かまくら	22
2 市のホームページ	22
2 市のSNS（X・LINE・Facebook）	12
3 チラシ	1
4 知人友人から	28
5 掲示板	
6 その他	14
計	99

イベントを知ったきっかけ



住まい



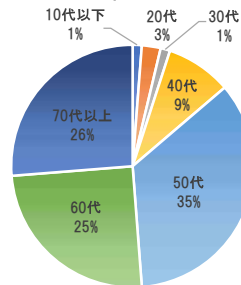
●お住まいはどちらですか

1 鎌倉市内	49
2 神奈川県内	17
3 都内	11
4 その他	3
計	80

●ご年齢を教えてください。

1 10歳代以下	1
2 20歳代	2
3 30歳代	1
4 40歳代	7
5 50歳代	28
6 60歳代	20
7 70歳代以上	21
計	80

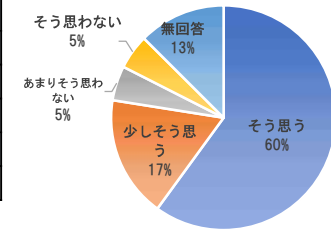
年齢



●鎌倉文学館の再開館が楽しみになりましたか。

1 そう思う	48
2 少しそう思う	14
3 あまりそう思わない	4
4 そう思わない	4
無回答	10
計	80

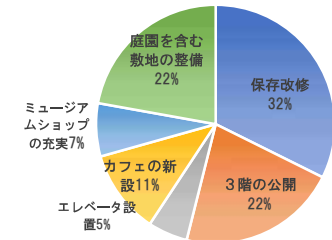
再開館への期待度



●鎌倉文学館の改修及び整備に関し期待できる点はどこですか。（複数回答可）

1 文学館の保存改修	54
2 文学館3階の公開	36
3 エレベータの設置	9
4 カフェの新設	19
5 ミュージアムショップの充実	12
6 庭園を含む敷地の整備	37
計	167

改修で期待できる点



●特に期待すること

暑い中、対応いただいた職員の皆様、お疲れ様でした。担当職員の方から保存改修、解体に至る経緯を丁寧に説明していただきました。話をさぎやかなヤジが飛んできて大変残念に思いました。当時の暮らしなどしっかり聴き取って頂き、文学館での展示を期待しています。移設されたステンドグラスなどを活用し、文学館の改修が予定通り進むよう頑張ってください。
旧前田邸の応接室の窓にあるステンドグラスは文学館２Fの現在ひし形のステンドグラス部分に移すのはどうか、旧前田邸を建てる際に文学館からステンドグラスを移したとあったが、おそらくその部分からもってきたような寸法だったので、一度測ってみてほしい
暑い中、対応いただいた職員の皆様、ありがとうございました。解体前に見学する機会を設けていただいた鎌倉市に心から御礼を申し上げます。建物の耐震性やバリアフリーなどに問題があり、また土砂災害特別警戒区域に立地することから、公的施設として活用するための多額の費用がかかることなど丁寧に説明いただきました。解体にあたっては、もともと文学館にあったとされるステンドグラスを元に戻したり、新たに建設される管理施設にイメージ復元を図るなど、計画に期待しています。
旧前田邸をイメージさせる管理棟にしてほしい。
旧前田邸はぜひ残してください。修繕すれば十分使用できます。４億円の予算で充分できます。カフェにすればいいと思う。
カフェには旧前田邸の部材などを取り入れて土地の歴史を伝えてください。
寄贈より１５年放置は残念。国宝館同様市民無料。
洋館解体には費用もかかり、改修して使うことを希望します。大切な文化財を有効に使って下さい。
文学館に足を運ぶ機会が多くなると思います。とても楽しみにしています。
保存というのはとても大変なことだと思います。今ある形が一番と言っても、そうはいかないのが現実です。初めて来ましたが、今後再開されたらぜひ再訪させていただきます。暑い中皆さんありがとうございました。
旧前田邸の解体は残念です。ずっと前から気になっていました。もっと早くから公開すべきだったように思います。そうすれば、部分保存など違った方法もあったのではないのでしょうか。住まないと劣化がすすむのはわかっていますが、これでは建物がかわいそうです。
とても楽しみにしています。
前田邸のボロボロ具合から、保存活用しようと考え動いていたという意図が見えない。寄付していただいた建物を少しでも良い状態という考え方があればこうならないのでは。
樹木伐採してまでのカフェ新設には反対だが、新設するならば、新設部分に防災拠点としての機能をもたせてほしい。津波想定時の避難場所が圧倒的に不足しており住民として不安。なお、今までの経緯、説明会の目的の見えなさ（不透明感）に大いに失望。
バリアフリーは大変ありがたいです
木の伐採は極力少なくてほしい。
29年の再開を楽しみにしています。
展示をもっとわかりやすくすること。お子様でも興味を持つようにマンガやイラストを取り入れること
旧前田邸は建物を保存すべき。とてもしっかりしている。
鎌倉らしい伝統と現代技術を融合したものになってほしい。
公開が楽しみにになりました。
旧前田邸に関しても創建当初の姿でセットで残してほしい。全体の敷地として考えたら打開策があるはず。
とにかく利便性を高くしてください。
解体予定の旧前田邸の保存を望みます。時代と住まい手を超えて、持続可能な建築の在り方を考えて実行し、日本遺産を感じられるまちを実現することが必要だと思いました。新築から維持管理、保存転用再生をつないでいく持続可能な住環境とサステイナブル社会をつくりあげる視点を持ち広げることが必要だと思っています。セミナー会場などに旧前田邸は再生可能だと思います。

昔の良いものを残してほしい。以前の文学館は展示物が多くて無機質で昔の良さが少なかったのでバラ園しか行っていない。
予定として、①改修費用はいくら？②工事終了（予定）は？
海への眺望が素晴らしいので、それを存分に生かしてほしい。
旧前田邸の取り壊しが不可解。なぜ壊すのか。管理棟にすれば、不特定多数、レッドゾーン、耐震の問題をクリアできるでしょう
文学館を再び整備し、公開してほしい。
コンセプトを見ると、役人が好きな、いわゆる”箱もの”であると思う。本当に、それによってインパクトをもたらすのか。再考した方が良い。
できるだけ元の姿を残すべき（文学館）。洋館、放置しすぎでかわいそう。こんなにボロボロにする市が信じられない。
旧前田邸を含めた計画を望みます。バリアフリーでない事等を説明した上で、見学、一部有料貸出等を行えないでしょうか。
バリアフリーと景観のバランスは非常に難しい部分がありますが、是非、景観をくずさないバランスを御願ひしたいです。カフェの値段は高めです。
文学館の昔の建物と設備の共存。どこにでもありそうなイメージ図で少し残念に思いました。軽井沢の施設のように文学館らしさが感じられませんか。旧前田邸に関しては、見れて良かったです。
旧前田邸の再利用の再検討。安全性を考慮して、集会所（会議ホール）
せっかく同じ敷地内に文学館と洋館があり、セットとして文化的観光的価値があるのに、わざわざ「洋館」を分けて価値がないとしてこわそうとする意図が全くわからない。管理棟、カフェを新たにつくるというなら、ここをそう活用すればいい。価値がないと判断した責任者はだれ？ぐずぐずしていてレッドシールの建物にしてしまったのではないか。
旧前田邸のデジタルアーカイブが残せると貴重な資料になると思います。
とにかく鎌倉市は、鎌倉の良さを残す力をもっと発揮すべき。古い建物がどんどん無くなって、どこにもある町になってしまう。
日本遺産の中で、別荘文化をあげているにもかかわらず、市の持っている別荘をこわすということはどういうことですか。日本遺産とりけしをされてもいいということですか。
カフェはうれしいが、スタバ？ 鎌倉の老舗にしてほしい。エレベータ「億」お金がかかりますね？もっと他に使うべきじゃないの？3Fの公開うれしい。
旧前田邸について、解体決定までの過程が不明瞭。保存の再検討してほしい。結論の是非に関わらず、もっと市民に情報を流してほしい。姿勢を問う。
コスト＆ベネフィットの問題はありますが、突然のインパウンドのように行政の想定外のこともあります。今時点の（C&B）のみで解体判断しなくてもいいのではないかと思います。
カフェを新設するより、旧前田邸をそのまま改修してカフェにしようか。その方が観光の拠点にもなる。横浜の洋館では、古い建物をそのままいかしてカフェや資料館にしている。知恵を絞るべきだ。
やっと昔開館になって鎌倉の宝になったもの。いつまでも保存してほしいです。旧前田邸がこんな姿になっているなんて信じられない。どうしてこうなってしまったのか知らせてほしいです。
バリアフリーを気にしすぎた現代風の平凡なものにしてほしくない。改修案の建築のデザインはとても現代的ではありますが、大正の和洋建築の意匠が全く残っていないかんじがしてさみしいです。建築の大枠は現代の技術を生かし、細部やメインイメージになる部分は、大正の技術を残すなどしてほしい。柱の意匠とか使えるものは何でも使って欲しい。
旧前田邸洋館の保護をまずはかってほしい。15年間放置したことが問題。新しい建物を作るのではなく、この建物を有効活用すべき。
既存建物の風合をそのまま残してください。
学生時代に伺った時のように、館内から海を眺めてみたいです。
問1：改修は決定なのか？ 問2：改修終了時期は？ 問3：改修（新規再構築）費用は？
土砂災害の内容不明。解体の理由に説得力なし。
文学館には大学生のころ（1990～2000年）によく行きました。こんなに素敵な建物があったなんて知りませんでした。この歴史的な建物はできるだけ大切にのこして欲しいけど難しいのですね。可能であれば、ステンドグラスと珪目の天井と床柱は残して使って欲しいと思います。なんでもちゃんと保管していなかったんですよ。

旧前田邸、雰囲気を残す＝残すことにはならない。建物の外観だけでなく、構造そのものも残す。この建物は、人が住む建物としての価値を、この建物の中に現実としてみとめることも必要。鎌倉らしさとは何をさすのでしょうか。模造ものであればどこにでもできます。でも本来のものではない偽物です。
寄贈を受けた価値のある建物を長く放置しすぎたため老朽化が進みすぎた。責任をもって改修すべき。残すべき。
市長は約束を守れ！ 放置した鎌倉市の責任。鎌倉の威厳をこれ以上破壊するな。これ迄も素晴らしい建物が非常に多く壊された。（高野邸、小池邸、対馬邸、山椒洞）それを市長が容認してきたことは間違っている。解体断固反対。喜んでこの建物を壊す者はいない。自然豊かな鎌倉を守れ！
旧前田邸も含め、ドアの枠一つにしても意味がある。ぜひその価値を知ってほしい。新しい建物にすると文学館の価値はなくなる。ぜひ保存修復を。
見学説明会の「説明」の部分が不十分。個別に対応したり、解散後に20名ほどの人に限定されてしまった。参加者全員が自分の意見は発しなくても、色々な質問への市の回答を聞くだけでも意味があるはず。説明会に徹底した機会を設けるべき。
旧前田邸という建物が鎌倉にあるということを今回初めて知りました。内部のインテリアは建物、敷地含めてのもの。壊してしまうのは、日本の宝を捨ててしまうのでは？今回の見学会の玄関先で行われた市民の意見発表をきちんと考えて頂きたい。
カフェ、ミュージアムの新設よりも旧前田邸を残すことを希望します。敷地内に移築するなど考えて頂きたい。新しいものはできても、解体してしまったら歴史あるものの良さは出せない。ぜひ旧前田邸を残して下さい。
旧前田邸のステンドグラスや玄関ドア、照明を再活用してほしいです。文学館に来るたび気になっていた旧前田邸です。解体はやむなしと思いますが、少しでも残ればと思います。貴重な機会を設けていただきありがとうございます。ありがとうございました。
旧前田邸が15年前に市に寄贈されてからの経緯について市のHPに公開して下さい。見学説明会の運営は、まるで小学生が運営するレベルの様にズサンで大いに反省して下さい。当日市の職員の方が10名程度参加していましたが、各人自分の持ち場の事しか理解されておらず、縦割り意識の強さはあきれる程です。これでは市の運営をお任せするのは非常に難しいと感じました。
文学館の再開は楽しみですが、増築部のパネル展示は失望しました。
旧前田邸を残してほしい。
旧前田邸見学会なのに、それに対するアンケート質問がないのはなぜか？カフェに使えば良かったのと思うが、その案は誰もが考えつきそうなのに実現されなかったのはなぜか？今さらの公開に自治体の不誠実さを感じる。
新しい物を建てるより今ある建物を出来る限り有効利用してほしいです。大変とは思いますが。
このような機会を設けて頂きありがとうございました。
鎌倉の特徴・良さは、自然環境と歴史ある景観。絶対保存すべき。
旧前田邸は十分再利用可と思いました。某構造設計者より
古い家具の再現なども期待したい。
鎌倉は、Caféはいくらでも市民が作ります。唯一無二のものを残すべき。
旧前田邸を、擁壁を整備してレッドゾーン解除して保存すべき。ここまで放置してしまったのは罪が大きい。ひき屋も考えて欲しい。新しい建物は不要！将来的なコスト高 浜風が来なくなる。
この様な歴史ある建物、二度とは？大切な鎌倉の宝です。洋館だけでなく、生活感も是非残して下さい。トイレも多く素晴らしいです。
可能な限り保存活用されること。

鎌倉文学館改修計画に伴う解体予定の洋館（旧前田邸）見学説明会 アンケート集計結果

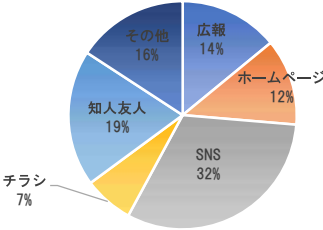
令和7年（2025年）9月30日（火）

参加者	220	回収率
アンケート回収	44	20%

●本日のイベントは何で知りましたか。（複数回答可）

1 広報かまくら	8
2 市のホームページ	7
3 市のSNS（X・LINE・Facebook）	18
4 チラシ	4
5 知人友人から	11
6 掲示板	
7 その他	9
計	57

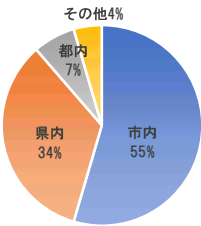
イベントを知ったきっかけ



●お住まいはどちらですか

1 鎌倉市内	24
2 神奈川県内	15
3 都内	3
4 その他	2
計	44

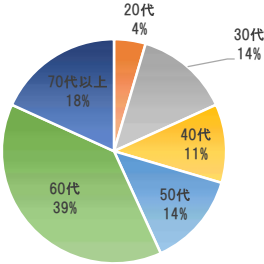
住まい



●ご年齢を教えてください。

1 10歳代以下	
2 20歳代	2
3 30歳代	6
4 40歳代	5
5 50歳代	6
6 60歳代	17
7 70歳代以上	8
計	44

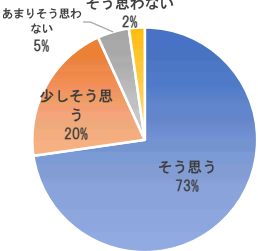
年齢



●鎌倉文学館の再開館が楽しみになりましたか。

1 そう思う	32
2 少しそう思う	9
3 あまりそう思わない	2
4 そう思わない	1
無回答	
計	44

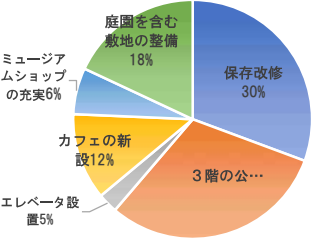
再開館への期待度



●鎌倉文学館の改修及び整備に関し期待できる点はどこですか。（複数回答可）

1 文学館の保存改修	34
2 文学館3階の公開	34
3 エレベータの設置	3
4 カフェの新設	13
5 ミュージアムショップの充実	7
6 庭園を含む敷地の整備	20
計	111

改修で期待できる点



●特に期待すること
建物を損なわず長期保存できるようにしてください
年をとっても楽しく来られるようになってうれしいです。
・文学館建物の復元 ・現代ではつくれない当時の匠の技（調度や建築）をなるべく残し活かす
3Fの見学を楽しみにしています。いろいろな意見があると思いますが、限られた予算の中で有効な使い方をしてほしいです。
ミニコンサートや新人芸術家等の作品展示等も一緒に行って頂くとうれしいです。
旧前田邸の存在を知りませんでした。ほとんどの市民が知らないでしょう。こんなひどいかわいそうな状態になるまで放置されていたことにびっくりがっかりです。ひと声かけていただければ、おそうじ、庭掃除に参りましたのに…。クラウドファンディング、ふるさと納税、広報など使って、このような残念なことが起こりませんよう祈ってます。鎌倉は古くて良いものがたくさんありますから。旧前田邸の照明はとてもおしゃれなものが多いので、新しいカフェで再利用できるといいですね。
資料の展示を充実させて欲しい。特別展の開催。
カフェやミュージアムショップができるとは知りませんでした。ガラッと雰囲気が変わると思うので、またオープンしたら楽しみたいと思います。
旧前田邸の再利用、カフェに変更。（古住居カフェ）
カフェの新設には反対します。市内にたくさん民間のカフェがあるのに市民の税金を使って新設する感覚が理解できません。同じお金を使うのなら、旧前田邸の保存、活用に使って欲しいです。
文学館は小説のモデルになっているのを読んでから、あこがれの場所でした。きれいになって再びオープンするのを楽しみにしています。旧前田邸が解体される前に一度見ておこうと、大阪から、このためだけに今朝来ました。屋から鎌倉を少し観光して夕方帰ります。
旧前田邸跡のメモリアルが解る様な物を築いて欲しい。
旧前田邸の保存に税金を使って欲しい。鎌倉文化を伝える施設として活用してはいかが？たとえば、「とんぼの会」とか…
景観を損なわないことが一番大事だと思います。分かりやすい説明と資料でした。ありがとうございました。
解体、保存に集中してください。飲食施設は重視するポイントではないと思います。
建築物、庭園、歴史、他との差別化、旧前田邸の紹介
旧前田邸解体は仕方ないと思いますが、内部の写真、3Dデータ（今ならそんなにかからず作れると思います）HPや資料館などで参照できるようにして頂けると嬉しいです。
旧前田邸は残念です。特に期待はないです。東京は文化財ウィークなどと文化や歴史的建造物をなるべく維持しているのに、鎌倉市のやっていることは最低だと思います。鎌倉はずっと世界遺産にはなれないでしょうね。
旧前田邸の価値は、建物としては、さほどないのでは。文学館をよりよくできればいいのでは。素晴らしい文学館の再開に向けて頑張ってください。
カフェ、ミュージアムショップの新設により、文学館の観光価値が高まるのではないかと思います。
今年度中に洋館の解体業者を入れさせる計画とお聞きました。解体する前に、建築の歴史（竹中工務店設計部しか分らないのはちょっと…）建物の見どころ、記録保持（3D、4D）を望みます。ステンドガラス以外にも、建付け家具や、照明、建具に見どころあると思います。
洋館の保存活用について再考されることを期待します。新しい施設のパスはどこにでもある面白味のないものに感じられます。せめて既存の文学館にもう少し寄り添う設計ならば、まだ皆様も納得されるのではないのでしょうか。インパウンド向け？どこを向いて、何を大切にされるのか市の姿勢が問われているように部外者ながら感じました。
・洋館の解体に至る丁寧な説明及び情報公開 ・解体を行うにしても、文化財的な調査をして調査報告書を作成して公開すること

文学館の修復については、おおいに納得している。母との思い出の地でもある。まさか休館しているとは思わず、何気なく見てたSNSから知れて良かった。本会の開催に感謝している。鎌倉市がいかに考え、活用しているのかが良くわかる。対応が大変そうだなと思うが、どうか有効活用の道筋を長期的に考え実行していった欲しい。
できるだけ元の状態で保存してほしい。
20年ぶりくらいに来ました。3Fからの景色が楽しみです。
新しい建物よりも、在るものを活かす方に注力してほしいです。再開を楽しみしております。素敵な機会をありがとうございました。
同じ町内に住んでいてなかなか洋館を見せていただくことがなかったので、貴重な時間をありがとうございました。私の先祖が前田利家と親戚だったもので、洋館の解体は、大変残念ですが、やむを得ないと思います。（伊予大州城のように、1泊130万円で宿泊させるというのもあり？）前田家ゆかりのエリアとして文学館とあわせて、子供達から年配まで鎌倉ならではの、らしさを味わえる空間にできればと切望します。
旧前田邸が一度も活用されずに取り壊しということで見学にきました。保存が難しいのもよくわかりましたが、残せる所は残して頂けと良いと思います。
カフェは周りにもあるので、わざわざ新設せず、そちらへの案内を出せばいいかと思います。
旧前田邸の保存修復、活用。本館は市の管理で、そして近代建築史の宝である。旧前田邸の活用は民間の力を借りてこの姿を残して頂きたい。地方都市の道の駅のような建物を代わりに建てる必要性は感じられない。美意識をもって決めて頂きたい
前田邸に関しては、かなり前にリフォームされていることが、残念ながら災いしているように思います。現状で残せるものは、ステンドグラスとか少しみたいです。全体（外観、内部）をみても、十分な考慮が必要です。
長楽寺廃寺跡、旧前田邸の保存維持継承。駒場の前田邸和館も1Fのみ常時公開、2Fは特別時のみ。前田邸もバリアフリーの為にあれば、1Fのみ公開でOKと思います。（解読不明文あり）ぜひ全面解体でなく、一部解体、一部補修で文化財として残して下さい。
洋館を壊すこと自体に反対なので、期待できません。質問を受ける時間を設けるといつつ、録音も録画もせず、二人いらして、一人の方が質問に答えている間、もう一人の方がメモを取られている様子もない。市民や今日いらした方の声に耳を傾ける姿勢すらないことにとても残念に思います。
昔の姿を、なるべくとどめていただきたいです。
洋館の内部写真を展示して欲しいです。100円～300円ぐらい入場料をとって下さい（長く保存するために）
耐震、バリアフリー、設備の整った建物の中で、川端康成や漱石に逢える楽しみ。文学館に並列するようにコーヒーショップが建てられる予定、前田邸の雰囲気を壊し、何の為にこの位置に予定の大きめの建物を作るのかに対して市は「観光客に満足してもらうため」とのことでは、鎌倉市民は、鎌倉はないがしろにするような答え。この答に市民は納得しますか。
文学館の保存修復は本当に嬉しいです。20代の学生の頃から何度も伺い、鎌倉の文学に親しみました。3Fバルコニーからのながめが大好きです。カフェはぜひ文学館の雰囲気に合ったクラシックな雰囲気にする方が、旅行者の方も喜ぶのではないかと思います。
洋館は改修すれば住めそうなのに残念なことです。
バラ以外の花木が年中楽しめる植栽。周囲の山谷含め山林や庭園内の木々の健全な保全。カフェの新設はもったいないので、その分は文学館の維持費に充ててください。（カフェの新設は、庭園含めた文学館の旧来からの良い雰囲気を破壊してしまう気がします）扇湖山荘も宜しく願います（保全、改修、再利用）
旧前田邸は残して活用。車寄せ含めて昔の姿に戻す。カフェは再考して設計し直す。文学館閉鎖は長すぎるので、一時閉鎖して使える場所は使う。

